

平成30年12月29日

市営住宅における個人情報等を含む書類の紛失について

川崎市住宅供給公社は、川崎市営住宅の管理代行業務を受託しております。

このたび、公社職員が市営住宅を巡回訪問中に入居者の個人情報を含む書類を紛失していたことが判明いたしました。

関係者の皆様には、大変ご迷惑とご心配をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。

1 概要

川崎市住宅供給公社の職員が、市営住宅を巡回中に入居者の個人情報を含む書類を公社車両の屋根に置き、それを失念したまま、車両を走らせてしまったために、その書類が紛失し個人情報等が流出いたしました。

(1) 発生日

平成30年12月28日（金）

(2) 紛失した書類

入居者台帳及び対応記録

(3) 流出した個人情報

市営住宅入居者10世帯28名分の氏名、住所、電話番号、年齢、性別、生年月日、続柄、収入、障害の有無、連帯保証人12名分の氏名、住所、電話番号、生年月日、入居者との続柄

対応記録（上記に加え、市営住宅の入居者の関係者15名分）

市営住宅入居者に関する情報（公社や市と入居者とのやりとりの経緯、関係者の氏名等）

2 経過

(1) 12月28日（金）午後3時20分頃、公社担当職員が、市営住宅で巡回訪問の用件を終え公社車両に戻る際、持っていた個人情報を含む書類を車の屋根に置きましたが、失念により、それを置いたまま乗車し、発車させました。

(2) 午後3時40分頃、公社に帰社したところで、書類の紛失に気付き、書類を車の屋根に置き、乗せたまま出発した事を思い出し、該当物件までの経路を2度にわたり検索しましたが、書類を見つけることはできませんでした。

(3) 午後4時40分頃、幸警察署へ遺失物の届け出をしました。

(4) 午後 5 時 5 分頃、公社へ戻り報告し、再び公社職員複数名体制で走行経路等を車両、徒歩にて複数回搜索しましたが、発見できませんでした。

3 発生後の公社の対応

当公社にて、12 月 29 日から対象入居者及び連帯保証人等に連絡するとともに、川崎市職員に同行いただき、対象入居者等への謝罪及び事情説明を順次行っております。

併せて川崎市職員と再び走行経路等を車両、徒歩、自転車等にて複数回搜索を行いましたが、発見にはいたっておりません。

また、当該個人情報を利用したと思われる不審な電話等の有無の確認、注意の呼びかけを行っております。なお、現時点で不審な電話等があったという報告はございません。

4 再発防止

当公社では、個人情報の管理取扱いにつきましては、川崎市住宅供給公社個人情報保護規定等に基づき行ってまいりましたが、今後はこのような事態を起さないようカバン等での持ち管理の周知・徹底及び移動時の相互確認をするほか、職員を対象とした研修を実施することにより再発防止に努めて参ります。

川崎市住宅供給公社住宅部市営住宅管理課

担当 森・牧野

電話 044-244-2060